

団体名(正式名称)

公益社団法人 大坂自然環境保全協会



代表者名	会長 夏原 由博(よしひろ)
担当者名	岡 秀郎(ひでお) 理事
住所	〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-13 ハイム天神橋202
電話番号	06-6242-8720
FAX番号	06-6881-8103
HPアドレス	http://www.nature.or.jp
代表メールアドレス	office@nature.or.jp
交通アクセス	大阪地下鉄メトロ谷町線・南森町駅／JR東西線・大阪天満宮駅から約500m(両駅は連絡駅)
職員数	非常勤 2名
団体の活動理念	人類が生態系の健全な営みの下でのみ生存できること、及び人為による生態系の損傷・破壊が深刻化していること、これらが人類の広範な社会活動に起因していることを強く認識し、自然環境・生物多様性の保護・保全・回復に努める。(以下は事業) (1)生態系の保護・保全のための調査・研究、情報収集、計画作成、提言と実践。 (2)地域計画、環境保全計画の作成と提言及び実践。 (3)講座、観察会、研究会、講演会などによる環境保護教育と人材育成、啓発。 (4)機関誌、出版物の発行、ホームページの公開、その他情報提供。 (5)前号に関する出版物、物品の普及。 (6)地方公共団体や他団体が行う事業への運営参加、人材の派遣、協力支援。
団体の活動内容	<調査・研究>自然環境・生物多様性保全に関する調査・研究 <里地里山保全、農空間保全>里地里山の保全管理とそのための植生調査、水田など農空間保全・農活動 <自然保護対策>乱開発などへの対応・提言 <トラスト>自然の土地を所有して守るトラスト活動(現在、山林4か所を所有) <普及>自然環境保全のボランティア養成講座、観察会、行事を主催し、自然を守る意識を育てるとともに知識、技術の普及に努めています。講座修了生たちは里地里山保全、講座や観察会の開催などの普及啓発、市民調査などで活動。 <自然環境の回復、創出・緑化>野生生物生息空間の創出、再生・緑化、回復 <主張・提言>都市の中の自然から広域の自然環境の保全、その復元を提言 <その他>自然環境保全に関する事業の受託、講師・スタッフの派遣も行っています。
活動中の感染防止策	・テレワークの活用／事務所でのマスク着用、アルコール消毒の徹底／密回避パネル設置／事務所入所者の記録化、追跡可能化／オンライン会合 ・講座、普及活動の人数制限・開催時のマスク着用、接触具類のアルコール消毒、参加者記録

公益社団法人 大坂自然環境保全協会

プログラム名	里山保全／自然調査／自然創出／環境教育／事業活動／職員体験など									
インターナン生の活動内容(概要)	<p>荒廃する里地里山の植生管理などによる保全・生物多様性の維持回復／水田など農空間の保全・農の実践／自然環境・生物多様性保全施策の基礎データとなる自然環境・生物多様性の調査／森づくりやビオトープの整備・管理／外部から受託するなどの多様な事業活動の実践・運営／自然環境・生物多様性の保護保全に対する市民の意識を高める普及啓発の取り組み／自然保護団体を運営する事務局職員の体験など。活動プログラムは自然環境・生物多様性の保護保全分野のなかで幅広くそなえています。</p>									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">活動のテレワーク比率</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> ~20%</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 21～49%</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 50～79%</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 80%～</td> </tr> </table>					活動のテレワーク比率	<input type="checkbox"/> ~20%	<input checked="" type="checkbox"/> 21～49%	<input type="checkbox"/> 50～79%	<input type="checkbox"/> 80%～
活動のテレワーク比率	<input type="checkbox"/> ~20%	<input checked="" type="checkbox"/> 21～49%	<input type="checkbox"/> 50～79%	<input type="checkbox"/> 80%～						
インターナン生の活動内容(詳細)	<p>【オフィス・フィールドでの対面活動の内容】 対象 は、上記の活動のすべてが対象。 新型コロナなど感染症対策として制限する室内集合型の活動(普及啓発)以外はすべてが対象です。具体例としては、活動のテーマ・企画立案、フィールドなどの活動、活動に関するデスクワーク、報告など成果物(達成目標)のまとめです。</p> <p>【テレワークでの活動内容】 上記活動に関する情報収集、記録・報告作成、その他のデスクワーク、オンラインミーティング</p>									
インターナン活動で得られるもの	<p>①自然環境・生物多様性と、それらの保護に関する知見・技能 ② (この分野において)インターナン生自身の意思を自ら具体的・実践的に創造すると同時に、社会などとの積極的な関係性(仕組みなど)を創出していく体験、もしくはその成果。</p>									
インターナン生への希望・期待	経験や知識、技術がなくても、そのインターナン生自身である「個」から出発し、その「個」だからできるオリジナルな取り組みを創造し、自身の「個」の証である社会公益活動(自然環境・生物多様性の保護)をつかんでいただきたい。									
活動期間	2023年6月～2024年1月(原則としてラーニング期間)で、希望により様々な活動継続は歓迎です。									
活動時間	活動内容によって異なるため、相談によって隨時決めます。									